

拠出金名：地球環境ファシリティ

国際機関等名	(国際復興開発銀行)地球環境ファシリティ				(略称) GEF	
種 別	国連本体		○国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	財務省 国際局 開発政策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額 (注1)				拠出率(%) (注3)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	—				20	100
平成13年度	12,188,583					
平成12年度	12,188,583					
	(注2)					
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左記の順位は第3次財源補充 分で2003年度より拠出開 始。	
1位	アメリカ		20.9			
2位	日本		17.6			
3位	ドイツ		12.3			
4位	英国		7.9			
5位	フランス		6.8			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
GEFは開発途上国における地球環境の保全・改善への取組のための資金を供与するメカニズムである。2002年8月に第3次財源補充(GEF-3:2002年7月～2006年6月)について合意。対象分野も①地球温暖化防止、②生物多様性の保護、③国際水域汚染防止、④オゾン層の保護に、⑤土地劣化防止、⑥残留性有機汚染物質(POPs)対策が新たに加わった。地球規模の環境への関心が高まるなか、GEFは独自の財源を持たない地球環境関連条約のための暫定的資金提供制度としての役割を果たしており(①や②)、④に対してはいち早くモントリオール議定書を支援した。また③や⑤、⑥に対しては国際的・地域的に幾つかのプロジェクトを実施し、着実に効果をあげている。我が国もGEFの役割を高く評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
第3者評価に基づく政策提言等を受けて、効果及び効率を高めるための施策を、年2回行われている評議会にて議論している。2003年5月の評議会ではモニタリング・評価機能の強化策も議題の1つである。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	47人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
重要ポストではないが、2002年4月まで環境省の職員が1名GEF事務局に出向していた。現在再び環境省から職員を1名出向させるためGEF事務局と調整中である。						

(注1) 払込みについては、全て国債による。

(注2) 平成12、13年度の拠出は、第2次財源補充分。

(注3) 我が国と各国とは会年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。